

県立産業技術専門学院に係る機能強化方針

産業技術専門学院を再編し、デジタル時代に対応した技能者の育成、企業人材のリスキリング支援など、ものづくり人材の育成拠点としての機能を強化

機能強化に向け5つの施策を推進

①ターゲットの拡大

離転職者や女性を含めた、幅広い層のキャリア形成を支援

- ・それぞれのニーズに応じたカリキュラムを構築
(複数の製造分野を横断したコース、多様な訓練内容・期間のコースの設定 など)

②在職者訓練の強化

企業が実施するOJTや社内研修を補完、リスキリングの機能を強化

- ・企業ニーズに合わせ、内容や規模を拡大
(オーダーメイド訓練の拡大、熟練度や分野ごとの体系的なカリキュラムの設定 など)

③カリキュラムの見直し

産業界ニーズへの対応に加え、利用者に選ばれる魅力的なカリキュラムを構築

- ・最新設備を導入し、デジタル化などの新技術に対応するスキルの習得を推進
(メカトロニクス、CNC工作機、ロボット、電子制御 など)

④企業等との連携

地域企業への就職を促進、ものづくり現場の魅力を感じられる機会を提供

- ・地域の企業との関係を深化、熟練技能者による訓練内容の充実
(企業でのインターンシップ、企業からの講師招聘 など)

⑤メッセージ発信 イメージ刷新

新たな学院としてイメージを刷新、将来のキャリアなどを効果的に発信

- ・学校名や訓練科名の変更、SNSを活用した情報発信の強化 など
[新名称(例)] ハイテクカレッジ

県立産業技術専門学院に係る機能強化方針

2学院に再編し、機能強化の推進に向けた運営体制を構築

○施設配置

交通アクセス・既存施設の有効活用・近年の充足状況等を考慮し、水戸・土浦の2学院に集約

○訓練内容

行政資源を集中させ、カリキュラム内容を拡充

【若年者向け】

◇製造系／建築系〔水戸〕

- ・デジタル化など新技術に対応するスキル習得を推進
- ・複数の分野を横断したカリキュラムを設定
- ・多様な訓練内容・期間のコースを設定

◇自動車系／電子情報系〔水戸・土浦〕

- ・産業界ニーズを踏まえ、引き続き内容を充実

【在職者向け】

オーダーメイド訓練、体系的なカリキュラムなど、質・量とも拡充

※その他、地域教育機関への委託により、多様な離職者訓練を実施

◆関係機関との連携

社会情勢や人材の需要動向などに柔軟に対応し、学院が十分に機能を発揮できるよう、産業界や市町村などからなる協議・連携体制を構築

○スケジュール ※予定

2028年（令和10年）4月、新体制へ移行

《再編後の訓練科（若年者向けの例）》 ※想定

訓練科名（仮称）	水戸	土浦
メカニカルエンジニア／デザイン	50名	-
金属クラフト	30名	-
電気エンジニア	30名	-
スマート建築	40名	-
モビリティ技術	40名	40名
コンピュータ制御／IT	（IT大）	60名
計	190名	100名

《再編スケジュール》

2025	2026	2027	2028
ソフト面の取組強化			新体制
実習棟建設（水戸）			